

公益財団法人 檜の芽会 御中

## 令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

|                         |                            |        |                 |
|-------------------------|----------------------------|--------|-----------------|
| 【団体の概要】                 |                            | ①作成日   | 令和 7 年 3 月 31 日 |
| ②法人・団体名                 | みよしのフリースクール HOPE（ホープ）      |        |                 |
| ③団体所在地<br>(都道府県・市町村名まで) | 〒470-0222 愛知県みよし市東陣取山 78-1 |        |                 |
| ④責任者氏名                  | 渡 俊彦                       | (役職名等) | 代表              |
| ⑤担当者氏名                  | 市川 晶子                      | (役職名等) | 運営責任者           |

## 【奨学活動の概要】

|                     |                                                |       |       |          |   |
|---------------------|------------------------------------------------|-------|-------|----------|---|
| ⑥助成交付決定番号           | R06-011                                        | ⑦助成金額 | 50 万円 | ⑧申請カテゴリー | B |
| ⑨奨学活動名              | 様々な理由により学習に困難を抱える子どもたちへの学習支援活動                 |       |       |          |   |
| ⑩主な実施場所名・<br>及びその住所 | みよしのフリースクール HOPE<br>〒470-0222 愛知県みよし市東陣取山 78-1 |       |       |          |   |

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

毎水曜日に不登校の小中学生・高校生のためのフリースクールを開き、学びと交流の場を提供している。人との関わりを通じて前向きな気持ちや学習意欲を引き出し、登校へ繋がる効果も見られている。また、不登校やひきこもりに関する相談対応や、保護者が気持ちを共有したり、悩みを相談したりする場として月 1 回開催している「HOPE 保護者の集い」を通じて保護者も含めたサポートを行い、子どもの意欲や主体性向上に寄与している。さらに、自治体や民間団体と連携し、月 1 回の情報交換会や講演会を開催するなど、地域全体での支援体制構築を進めている。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3-2 等でご報告願います。）

| 支援対象   | 延べ人数<br>(A : 人) | 平均時間<br>(B : 時間) | 活動量<br>(A x B) | 備考・補足・計算根拠等                       |
|--------|-----------------|------------------|----------------|-----------------------------------|
| 中学生等   | 17              | 5                | 85             | フリースクールでの活動                       |
| 高校生等   | 8               | 5                | 40             | フリースクールでの活動                       |
| 大学生等   |                 |                  |                |                                   |
| 学習支援員等 | 109             | 4                | 436            | フリースクールでの活動<br>および不登校中高生を持つ保護者の支援 |
| その他    | 33              | 1.5              | 50             | 不登校中高生を持つ保護者の支援                   |
| 合 計    |                 |                  | 611            |                                   |

⑬その他の定量的な数値（任意）

- \* 自治体や民間団体と連携した情報交換会を 7 回開催（1 回 2 時間）、述べ 81 名が参加。
- \* 不登校をテーマにした講演会を開催、1 時間 30 分、述べ 44 名が参加。

# 令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

## 奨学活動名：様々な理由により学習に困難を抱える子どもたちへの学習支援活動

法人・団体名：みよしのフリースクール HOPE

作成者 氏名：市川 晶子

### 1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

すべての子どもたちが平等に、与えられている能力を開花させられる社会の実現を目的として、様々な理由により学習に困難を抱える子どもたちへの学習支援活動を行っています。

- ① 不登校の小中学生・高校生のためのフリースクール（毎週水曜日 10 時～15 時）
- ② 経済的困難を抱える小中学生・高校生のための無料塾（助成期間中は希望者がいなかったため、実施しておりません。）
- ③ 小中学生・高校生、保護者からの不登校やひきこもりに関する相談対応（随時対応。必要に応じて公認心理師の資格を有するスタッフによるカウンセリングを無料で受けることも可能。また、月 1 回、保護者が気持ちを共有したり、悩みを相談したりする場として「HOPE 保護者の集い」を開催。）
- ④ 自治体・民間団体等とのネットワーク構築（月 1 回、子どもたちの学びの場を保障するための情報交換会「みよしの子どもたちの環境を考える会」を主催。）

### 2. 実施した奨学活動の詳細

#### ① 不登校の小中学生・高校生のためのフリースクール

##### ◎活動内容の詳細

【場所】みよしのフリースクール HOPE

【日時】毎週水曜日 10 時～15 時（個別に対応が必要な場合は金曜日 10 時～12 時）

【対象】不登校の小中学生・高校生

【会費】1 日 500 円（光熱水費、施設賃料の一部として使われます。）

【内容】人との関わり、遊び、学習などを通じた学びの場の提供



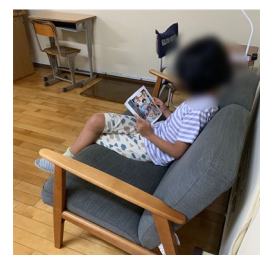
ボードゲーム



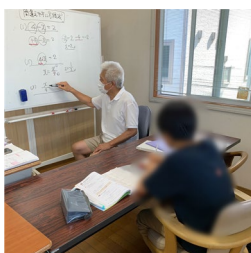
公園で遊ぶ様子



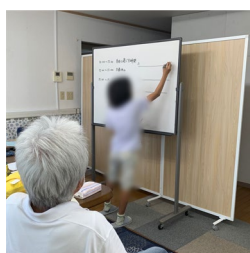
昼食時



読書



数学の学習



算数の学習



理科実験



調理実習

##### ◎参加人数

小学生：延べ 62 名 中学生：延べ 17 名 高校生：延べ 8 名

## ◎周知方法や協力いただいた関係者

【周知方法】HP、Instagram、チラシ

【協力いただいた関係者】

一般社団法人みよしはたらく協議会、NPO 法人 BLUE、みどりっこサポーター

## ◎地域やボランティア活動との連携

- ・学校地域連携のボランティア活動を行っているみどりっこサポーター主催のイベントへの参加
- ・地域の方からの食料品の寄付
- ・一般社団法人みよしはたらく協議会の行う精神障がい者等サポート事業「シエルブルー」と連携し、シエルブルー利用者が HOPE ボランティアスタッフとして参加

## ◎学習支援員について

運営スタッフ（教員経験者）：2 名 ボランティアスタッフ：3 名

## ◎購入した機材・物品

工作の材料、文房具、ポッチャ



購入した材料で作った  
マスコット



購入した材料で作った  
バイカラーボトル



文房具



ポッチャ

## ◎成果

- ・家族以外の人と接することができるようになった。
- ・パニックを起こすことが少なくなった。
- ・通信制高校に通うことができるようになった。
- ・学習意欲が湧き、学習に前向きに取り組むようになった。
- ・登校への意欲が湧き、少しずつ学校で過ごせるようになった。

## ③ 小中学生・高校生、保護者からの不登校やひきこもりに関する相談対応

### Ⅰ. 個別相談

#### ◎活動内容の詳細

【場所】みよしのフリースクール HOPE

【日時】希望があれば随時対応、1 回 1～2 時間程度

【対象】不登校・ひきこもりの小中学生・高校生とその保護者

【会費】無料

【内容】相談に乗り、必要に応じてフリースクールで子どものサポートを行ったり、他の支援機関を紹介したりする。専門家の支援が必要な場合は、公認心理師の資格を有するスタッフによるカウンセリングを行うこともある。

#### ◎参加人数

小学生：延べ 3 名 中学生：延べ 2 名 高校生：延べ 2 名 保護者：延べ 11 名

#### ◎周知方法

HP、Instagram

### ◎地域やボランティア活動との連携

みよし市内の小中学校のスクールカウンセラーとの情報交換

### ◎支援員について

運営スタッフ（教員経験者）：2 名 運営スタッフ（公認心理師）：1 名

### ◎購入した機材・物品

書籍



書籍

### ◎成果

- ・保護者の気持ちが軽くなることで、子どものペースを尊重できるようになった。
- ・発達障害や学習障害の専門機関と繋がることができた。
- ・専門家から子どものサポートの仕方を学ぶことができた。

## II. HOPE 保護者の集い

### ◎活動内容の詳細

【場所】みよし市市民活動センター

【日時】毎月第2金曜日 13時～15時

【対象】不登校・ひきこもりの小中学生・高校生の保護者

【会費】無料

【内容】保護者が気持ちを共有したり、悩みを相談したりする。

### ◎参加人数

延べ22名

### ◎周知方法

HP、Instagram

### ◎支援員について

運営スタッフ（教員経験者）：2 名

### ◎成果

- ・同じような悩みを抱える保護者と繋がることができた。
- ・保護者の気持ちが軽くなることで、子どものペースを尊重できるようになった。
- ・各学校の不登校児童・生徒への対応について、情報を共有することができた。
- ・受験対策や通信制高校についてなど進路情報を共有することができた。
- ・様々な支援機関についての情報を共有することができた。

## ④ 自治体・民間団体等とのネットワーク構築

### ◎活動内容の詳細

【場所】みよし市教育センター「学びの森」またはみよし市市民活動センター

【日時】毎月第3土曜日 13時～15時

【対象】子どもたちへの思いがあれば、誰でも参加可能。保護者、学校関係者、フリースクール関係者、市議会議員などが参加している。

【会費】無料

【内容】子どもたち（特に不登校児童生徒）のためのより良い環境作りを目指した情報交換会「みよしの子どもたちの環境を考える会」を主催している。不定期で勉強会や講演会も開催している。



みよしの子どもたちの  
環境を考える会



公認心理師を講師に招いた  
勉強会



ひきこもり支援センター  
職員を講師に招いた勉強会

### ◎参加人数

延べ 81 名

### ◎周知方法や協力いただいた関係者

【周知方法】HP、Instagram

【協力いただいた関係者】

みよし市教育センター「学びの森」、一般社団法人みよしはたらく協議会、  
みよし市いじめ不登校対策推進協議会、みよし市教育委員会

### ◎地域やボランティア活動との連携

「みよしの子どもたちの環境を考える会」には、みよし市立中学校の教員、市議会議員、社会福祉協議会の職員、精神障がい者支援団体の関係者、学校と地域の連携活動を行うボランティア団体の関係者など、地域で活動する多様な人々が参加している。この会を通じて新たな繋がりが生まれ、子どもの支援活動の充実や講演会の開催、行政への働きかけなど、様々な効果的な動きが展開されている。

### ◎講演会の開催

【場所】みよし市教育センター「学びの森」

【日時】2024 年 10 月 25 日 10 時～11 時 30 分

【対象】みよし市内の小中学校在学中の児童生徒の保護者、教育関係者、  
不登校問題に関心のある方

【会費】無料

【内容】元不登校当事者が語る「学校に行けないということ」

【参加人数】44 名



講演会

### ◎成果

- ・子どもたちに関わる様々な人々と繋がることができ、様々な視点を学ぶことができた。
- ・不登校児童生徒やその保護者が抱える悩みを、共有したり情報交換をすることができた。
- ・不登校児童生徒への対応についての学校が抱える課題を、共有したり情報交換をすることができた。
- ・様々な問題について、市議会に声を届けることができた。
- ・勉強会や講演会を開催することで、不登校について理解を深めることができた。
- ・講演会を開催することで、多くの方々に HOPE やみよしの子どもたちの環境を考える会の活動について知ってもらうことができた。また、講演会をきっかけに、みよしの子どもたちの環境を考える会の参加者も増加した。



### 3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

#### ◎本活動から得られたもの

本活動を通じて、多くの学びを得ることができた。特に、子どもたちが逞しく成長していく様子を目の当たりにし、子どもたちの力を信じて主体的に動き始める瞬間を待つことの大切さや、適切なタイミングで適切なチャレンジの機会を用意することの重要性を実感した。また、保護者や学校関係者、フリースクール関係者など、子どもに関わる大人たちが信頼関係を築き、協力して支援を行うことの重要性も学ぶことができた。

#### ◎反省点

学習支援が子どもにプレッシャーを与えてしまうケースがあった。この経験から、スタッフと保護者が子どもの様子をしっかりと観察し情報を共有しながら、その子に合ったペースでサポートを行うことの重要性を改めて実感した。

#### ◎課題

フリースクールには集団行動が苦手な子どもが少なくなく、一人ひとりに適したサポートを行うためには、スタッフの充実が欠かせない。しかし現状では人員が不足しており、本活動の趣旨に賛同し協力してくれるスタッフを増やすことが重要な課題である。また、学校への復帰を希望する子どもに対しては、保護者、学校関係者、フリースクール関係者が定期的に話し合いの場を持ち、その時々に応じた適切なサポートを提供する必要がある。このためのサポート体制の構築も大きな課題である。さらに、不登校に対する周囲の理解が不足している現状があり、そのために周囲からの視線に苦しむ子どもや保護者が少なくない。講演会などを通じて不登校についての理解を広める機会を提供し、社会全体の意識を変えていくことも重要な課題である。

#### ◎今後への発展性

みよし市内には学校にもその他の教育機関にも通っていない小中学生が約 70 名いる。HOPE の活動に参加する子どもは徐々に増えており、今後さらに活動を広く知ってもらうことで、家庭以外に居場所のない子どもを減らすことができると考えている。また、自治体や民間団体との連携も進展している。2024 年 12 月にはみよし市フリースクール等連絡協議会が初めて開催され、みよし市教育委員会とフリースクールの間で意見交換が行われた。このような連携は今後さらに強化されることが期待されるので、今後も「みよしの子どもたちの環境を考える会」を中心に、子どもたちにとってより良い環境を整えるため、積極的な活動を進めていきたい。

### 4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等

3 年間不登校だった子どもが、HOPE での滞在時間や関わる人を少しずつ増やし、担任の先生と家庭訪問で関わりを徐々に深め、学校の近くを車で通る、学校の敷地に入ってみるなどのスモールステップを積み重ねることで、1 年かけて学校で過ごす時間を持てるようになった。保護者、学校関係者、HOPE スタッフが直接話し合い、信頼関係を築きながら子どもをサポートできたことが、この変化の一つの要因であったと考えている。このケースから、子どもに関わる大人が真剣かつ丁寧に向き合い、その子にとって本当に必要な支援を見極めることが重要であると実感した。このようなサポートが不登校の子どもだけでなく、すべての子どもたちに行き渡る社会を目指し、今後も活動を続けていきたい。